

# 南丹市教育の 基本理念

市教育委員会では、平成26年7月に策定した第1次南丹市教育振興基本計画により、教育行政を推進してきました。



▲平成26年策定の第1次南丹市教育振興基本計画

平成30年度の第2次南丹市総合振興計画の策定を受け、第1次計画の見直しを図り、今後予想される社会の変化に対応でき、次代を創生していく市民の育成を目指して、本計画を策定しました。

本計画の策定にあたっては、持続可能な南丹市を具現化するために長期的な視点を持つことが肝要であることから、その基本理念として「南丹市の目指す市民像」(下图)の実現に向け、地域社会総がかりで協力・連携しながら、取り組みを進めることとしています。



Q. 次代の教育ってなんだろう？

A. そもそも、「教育＝勉強、学校」のイメージが強いですが、教育基本法が示す教育の目的は「人格の完成を目指す」ことを言います。

今後は、「人生100年時代」「生涯学習時代」の到来や、AIなどの先端技術が発達する社会を迎えると言われていています。目まぐるしく変わり続ける社会で生き抜くためには、未来を担う子どもたちの教育とともに、今を生きる大人も、常に学び続けていく必要があります。



※「第2次南丹市教育振興基本計画」1ページより



※内閣府HP「Society5.0」より

■これから迎える社会  
人類はこれまでに狩猟社会、農耕社会、工業社会、そして現在は情報社会を歩んでいます。この先、AI(人工知能)やビッグデータの活用、各種ロボット技術などの発達により、超スマート社会「Society 5.0」を迎えるといわれており、人々の生活環境にさまざまな影響を与えるとされています。